

タウンミーティング

ファミリーサークルえん 様

令和2年10月31日（土）

【テーマ】

習志野市後期基本計画の中心的内容と
やさしさを繋がるまちづくりについて

後期基本計画の前に…

習志野市文教住宅都市憲章

「市民が明るく健康で豊かな生活を営むための具体的な条件を明確にする」ため、本市不変のまちづくりの基本理念として定めたもの。昭和45年9月30日施行。

- 一. わたくしたち習志野市民は、青い空と、つややかな緑をまもり、はつらつとした若さを失わないまちをつくります。
- 一. わたくしたち習志野市民は、暖かい生活環境をととのえ、住みよいまちをつくります。
- 一. わたくしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化をはぐくむ調和のとれたまちをつくります。

後期基本計画とは？

基本構想

【習志野市基本構想】 H26(2014)～R7(2025)

施策の基本理念、将来像を定めたもの

「未来のために～みんながやさしさでつながるまち～習志野」

基本計画

【習志野市後期基本計画】 R2(2020)～R7(2025)

基本構想に基づく具体的な施策を表す計画

(本市の行政計画の最上位に位置付け)

実施計画

【後期第1次実施計画】 R2(2020)～R4(2022)

基本計画を推進するための事業計画

記載内容は？

基本構想にて定めた本市の将来都市像である
「未来のために～みんながやさしさをでつよがるまち～習志野」
を実現するための…

- ◆ 財政計画
- ◆ 関連する個別計画
- ◆ 取り組む重点事項
- ◆ 施策の展開
- ◆ 施策の概要
- ◆ 6年後の目指す姿
- ◆ 施策の成果を表す指標



施策とは



A. 課題を解決するために実行すべき策

将来都市像実現にあたっての課題は？

◆ 少子超高齢社会の進展、 人口減少への対応

→令和7年に総人口のピークを迎え、
その後減少見込み



◆ 公共施設の老朽化と増大する 維持管理・更新費用への対応 →築後30年以上の施設が約8割

◆ 持続可能な財政運営と 公共私助け合い →業務の見直しや住民団体、 企業等の連携協力



課題解決! 将来都市像を実現するために!!

後期基本計画の策定にあたり、
大きな方針(戦略イメージ)を掲げました。

魅力あるくらしのできる習志野へ
“新しいひとの流れ” づくりの強化

これに基づく取り組むべき2点の重点事項は…

➤ 重点事項1

将来を見据えた都市空間の整備

➤ 重点事項2

魅力あるくらしづくりの推進と地域共生社会の実現

将来を見据えた都市空間の整備

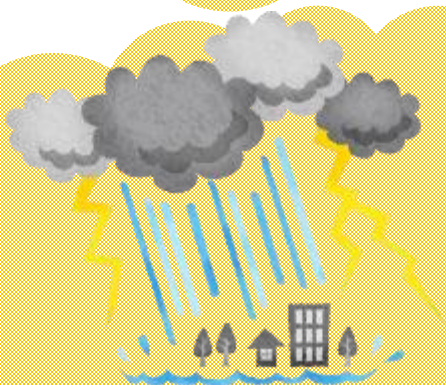
主な取組内容は??



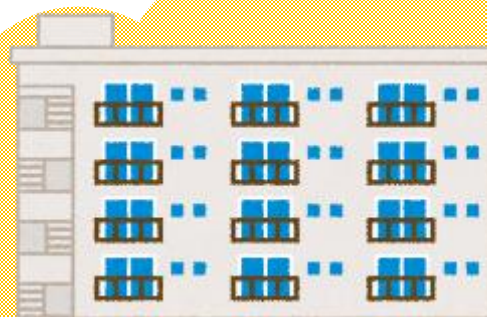
新市街地の創出



まちづくりの支援



事前防災対策



団地再生に向けた連携

安全・安心、快適なまちづくりで人口増加、定住促進!!⁶

魅力あるくらしづくりの推進と地域共生社会の実現

主な取組内容は??



住みよさ、暮らしやすさの向上で人口増加、定住促進!!⁷

将来都市像を実現するための3つの目標

後期基本計画では、
これらの目標に基づく施策を推進します。

支え合い・活気あふれる「健康なまち」

「健康づくりの充実」 「地域福祉
の推進」 「高齢者支援の推進」
「障がい者(児)支援の推進」 「社
会保障の充実」 「産業の振興」
「新しい産業の創造」 「働きやす
い環境づくり」 「まちの魅力の創
出」



将来都市像を実現するための3つの目標

後期基本計画では、
これらの目標に基づく施策を推進します。

安全・安心「快適なまち」

「防災・危機管理の推進」 「消
防・救急体制の向上」 「防犯・交
通安全の推進」 「消費生活の向
上」 「市街地整備の推進」 「住宅
施策の充実」 「道路交通施策の推
進」 「ガス・水道・下水道の充
実」 「地球温暖化対策の推進」
「自然環境の保全・活用」



将来都市像を実現するための3つの目標

後期基本計画では、
これらの目標に基づく施策を推進します。

育み・学び・認め合う「心豊かなまち」

「子育て・子育ての支援」「幼
児教育の向上」「学校教育の向
上」「社会教育の推進」「生涯
スポーツの推進」「交流の推
進」「平和啓発の促進」



自立的都市経営の推進と3つの重点プロジェクト

将来都市像実現に必要な“自立的都市経営”を推進するため、以下の重点プロジェクトに取り組みます。

公共施設の再生



施設機能は維持しつつ、施設数を削減。長寿命化の推進。売却、貸付等による財源確保。

自立的都市経営の推進と3つの重点プロジェクト

将来都市像実現に必要な“自立的都市経営”を推進するため、以下の重点プロジェクトに取り組みます。

財政健全化

情報・通信技術や人工知能の活用。民間活力の導入。制度の見直し。職員の意識改革。経費の抑制。



自立的都市経営の推進と3つの重点プロジェクト

将来都市像実現に必要な“自立的都市経営”を推進するため、以下の重点プロジェクトに取り組みます。

協働型社会の構築



公共サービスの担い手である市民への支援。多くの主体が連携・協力してまちづくりに取り組める基盤の整備。

将来都市像実現に向けて…

重要なのは、「**協働型社会の構築**」!!

なぜ?? 社会的課題は複雑・多様化しており、
行政(市役所)のみでの対応は困難



協働型社会とは



市だけでなく、NPO、ボランティア活動団体、企業、学校、町会・自治会など様々な主体が公共サービスの担い手となり、地域課題解決に向けて行政と協力・協調する社会のこと。

協働型社会構築のため私たちにできること

それぞれの責任と役割を理解し、
対等な立場で市民協働の推進に努める必要があります。

市の役割

市民・市民団体の役割

市民協働情報の提供

推進体制の整備

活動拠点の充実

活動資金の補助・助成

理解

まちづくりの主体であることを自覚

地域課題に関心

対等

市民活動運営

市民活動に参加

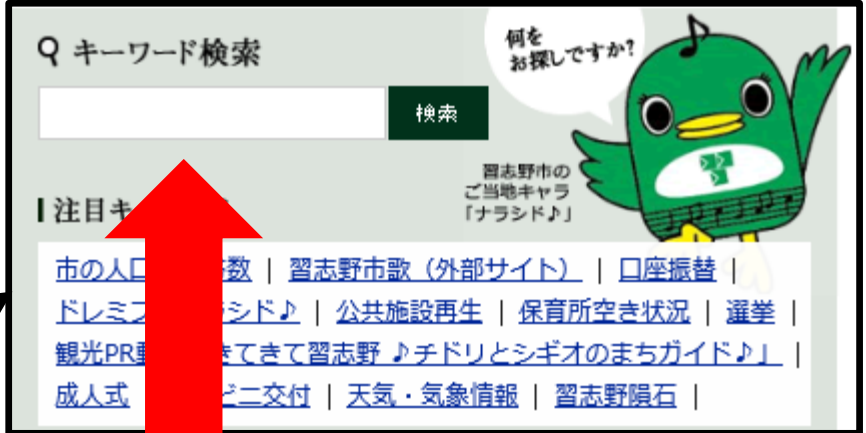
協働型

社会★



おわりに…

【習志野市ホームページ】



「習志野市後期基本計画」と入力!!



今後とも市政に御協力の程お願いいたします。
 ご清聴ありがとうございました。

